

2020 - 2021 年度
中西部第 1 回評議会議事録

日時：2020 年 8 月 1 日（土）14:00～16:15

会場：大阪 YMCA 会館 10 階 102+103+104 号室

出席者：

役員 部長：吉田由美，直前部長：掛谷太郎，次期部長：牟大盛，書記：生雲文枝

会計：保田圭子，事務局長：杉浦眞喜子

大阪 YMCA 統括担当主事：内山雅文

事業主査 Y サ・ユース：三浦直之，地域奉仕・環境：工藤義正，EMC：清水眞一

国際交流：柿島裕，メネット：栗田達夫

クラブ会長 大阪：牟大盛，大阪土佐堀：岩原義則，大阪高槻：西野陽一

大阪センテニアル：中村茂高，大阪西：湯浅禎也，大阪茨木：野田将弘

大阪なかのしま：桑原頼子

欠席者： 幹事：谷正一

司会 生雲文枝書記

1. 開会点鐘 吉田由美部長
2. 新型コロナウイルス感染予防と時間短縮のため「ワイズソング斉唱」は省略。
3. 開会祈祷 杉浦眞喜子事務局長
4. 出席者確認

生雲文枝書記により，本日の出席者 18 名（1 名遅刻予定，議決権を持つ者 16 名），部則第 8 条 5 項により会の成立が確認された。

5. 部長挨拶

行動が制限されているこの時期，この状況にあって今出来ることを模索していきたい，との挨拶が吉田由美部長よりあった。

6. 部長報告

資料 P3～4 に沿って，「2020 - 21 年度 第 24 期 西日本区第 1 回役員会」の報告が吉田由美部長よりなされた。

生雲文枝書記より，西日本区事務所元職員としての立場から今期の区費免除の原資について，以下 3 件の余剰金が当てられているとの追加説明があった。

- ・ 「会長・主査研修会，役員会等の中止による旅費等の余剰金」
- ・ 西日本区大会中止による余剰金

7. 審議事項

議長 吉田由美部長

第1号議案「2019-2020年度第5回評議会議事録」承認の件

清水真一直前書記により、資料 P6, 7 の表記議事録につき説明があり、全員賛成挙手にて承認された。

第2号議案「2020-2021年度準備評議会議事録」承認の件

生雲文枝書記により、資料 P9, 10 の表記議事録につき説明があり、全員賛成挙手にて承認された。

第3号議案「2019-2020年度中西部会計決算」承認の件

塚理直前会計の代理として清水真一直前書記より資料 P12 の表記決算書について説明があり、併せて大村肇直前監事の監査を受けたとの報告があった。

これに対し、特別会計の内容についての質問があり、清水真一直前書記と杉浦眞喜子事務局長から説明があった。

また、支出 特別活動費（適用：チャリラン）0円についての質問があり、清水真一直前書記及び湯浅禎也大阪西クラブ会長より、5万円の予算をとっていたが、一昨年に続き、今年のチャリティーラン実行委員会からの請求がなかったために出金できなかったとの説明があった。

それに関連し、チャリティーランは、ワイズも主催者であることを毎年確認することが必要ではないかとの意見が述べられた。

第4号議案を協議する前に、関連する第5及び6号議案の協議を先にやりたいとの議長からの提案があった。

第5号議案「公益財団法人大阪 YMCA に対する中西部としての支援」の件

（吉田由美部長提案の議案のため、生雲文枝書記が議長となる）

吉田由美部長より、表記提案について資料 P15 の提案理由に沿って説明があった。

内容は、大阪 YMCA に対する中西部からの支援として、下記 ①、②の金額を併せて、YMCA の「ポジティブネット募金」へ捧げるというもの。

- ①中西部特別会計の内、「ユース事業積立金（豊中クラブ 50 周年・指定献金）」32,532 円
- ②各クラブからの献金を集約する。

この提案に対して、以下のような質問、意見が出された。

- ・各クラブ個々に献金してそれを報告するのもいいのか？
- ・目標額の設定はあるのか？
- ・提案の中に「青少年・・・」とあるが、「ポジティブネット募金」には、青少年以外に高齢者も対象としている。矛盾がないか？
- ・他部では、かなりの多額を YMCA に捧げた例もあるようだが、中西部も目標額を決めて別立てで献金をすることを考えたらどうか？
- ・①の特別会計を使うということを審議することと、②の各クラブからの献金を集めることを協議することを一緒にはできないのではないか？

これらの質問、意見を踏まえた上で、吉田由美部長は、第5議案を以下のように切り替えての提案とした。

「中西部特別会計の内、「ユース事業積立金（豊中クラブ50周年・指定献金）」32,532円をYMCAの「ポジティブネット募金」へ捧げる」

この提案は、全員賛成挙手にて承認された。

第6号議案「第26回大阪YMCA国際チャリティーラン2020に対する中西部としての支援」の件

（吉田由美部長提案の議案のため、生雲文枝書記が議長となる）

吉田由美部長は、「第26回大阪YMCAチャリティーラン2020」は中止になったが、その目的である「障害のある子ども達へ」の支援は続けたいので、予算として計上している特別活動費（チャリティーランに対する支援）5万円をその目的を果たすために、大阪YMCAへ献金したいとの提案をした。

これに関連し、チャリティーランの中止になった経緯等について内山雅文統括担当主事より説明があった。

また上記吉田由美部長の提案に対し、下記のような意見があった。

- ・各クラブエントリー料などある程度の金額をチャリティーランのために用意してきた。中西部からの大阪YMCAへの支援としては、これだけでは少なすぎるように思う。もっと大きな額を目標に定めてしっかりと支援したい。

このような意見を受けて、「大阪YMCAを支援しよう」という新しい動議を別に提案することとし、ここでは、吉田由美部長の上記提案についての賛否を問い、全員賛成挙手にて承認された。

第4号議案「2020-2021年度中西部会計予算」承認の件

保田圭子書記により、資料P14の表記予算案について説明があった。それに対し幾つかの不備が指摘されたが、それらを訂正することを条件に、予算案は全員賛成挙手にて承認された。

第7号議案「各クラブより募金を募り、中西部としてまとめて大阪YMCAの『ポジティブネット募金』に捧げる」件

（吉田由美部長提案の議案のため、生雲文枝書記が議長となる）

第5、6号議案の協議時に出た議論を基に、吉田由美部長より表記議案の提案があった。

これに対して、下記のような意見、質問が出された。

- ・ある程度大きな金額の献金をしたい。
- ・方向性が分かりにくい。
- ・チャリティーランのために用意したお金は、この募金の対象にならないか？
- ・「部長からのお願い」にとどめる方がいいのではないか？

これらを受けて、吉田由美部長は、チャリティーラン関連の支援については、各クラブそ

それぞれのやり方でやって欲しいとの希望を述べた上で、上記提案を確認し承認を求めたが、挙手7票で、過半数に満たず、この提案は否決された。

8. 報告事項

事業主査報告

資料 P20～24 に沿って、各事業主査から活動方針等が述べられた、

会長報告

同様に資料 P25～31 に沿って、各クラブ会長から活動方針等が述べられた、

大阪 YMCA 連絡事項

内山雅文統括担当主事より以下のような報告があった。

- ・いくつかの行事の中止について
- ・六甲山 YMCA の閉鎖について（大雨被害のため、10月～3月予定）
- ・いくつかの開催行事予定について
- ・9月開校予定の IHS 関係の新規事業について
- ・さらなる募金に対する協力要請

その他の報告として

吉田由美部長より、新しい中西部のホームページのリニューアルについての詳細な説明があった。

杉浦眞喜子事務局長より、マンスリーレポートについての留意事項が述べられた。

9. 谷正一監事お休みのため、監事講評は省略。

10. 新型コロナウイルス感染予防のため「YMCA の歌斉唱」は省略。

11. 閉会祈祷 保田圭子会計

12. 閉会挨拶・点鐘 吉田由美部長